

T20240630_02_MarketandM

[マイク](#)ロモバイルデータセンタ、2029 年までに 96 億ドル

MarketsandMarkets が発行した調査レポート「マイクロモバイルデータセンタ市場:オフリング(ソリューション、サービス)、アプリケーション(エッジコンピューティング&IoT 導入、一時的および遠隔操作)、ラックユニット、組織規模、フォームファクタ、タイプ、垂直、地域別 - 2029 年までの世界予測」によると、マイクロモバイルデータセンタ市場は、2024 年の 52 億ドルから、予測期間に CAGR 13.3%で成長し、2029 年までに 96 億ドルに達すると予想されている。

マイクロモバイルデータセンタ(MMDC)は、多様な環境で不可欠なコンピューティング、ストレージ、およびネットワーク機能を提供する、コンパクトでポータブルなソリューション。柔軟性と拡張性を提供し、エッジコンピューティングや IoT アプリケーションに対する需要の高まりに対応する。MMDC は、そのモジュール設計とモビリティにより、遠隔地や一時的なセットアップでの迅速な展開に適しており、最新の IT インフラストラクチャに不可欠なコンポーネントとなっている。

アプリケーション別では、エッジコンピューティング&IoT 展開セグメントが予測期間中に最大の市場規模
エッジコンピューティングの台頭により、処理がデータソースに近づくことで、レイテンシーが削減され、効率が向上する。エッジコンピューティングは、リアルタイムのデータ分析と意思決定を可能にし、迅速な対応がしばしば必要とされる IoT などのアプリケーションに不可欠である。マイクロモバイルデータセンタは、IoT デバイスに近いコンピューティングパワーとストレージ容量を提供することで、IoT の導入をサポートするために必要なインフラストラクチャを提供する。

企業は、リアルタイムアプリケーションの要求を満たし、レイテンシ

ーを低減するために、エッジ コンピューティング ソリューションを採用する傾向が強まっている。この需要により、エッジに迅速に展開できるマイクロモバイルデータセンタのニーズが高まっている。IoT 市場は、製造、ヘルスケア、輸送、スマートシティなど、様々な業界で拡大を続けている。

地域別では、APAC 地域が予測期間中に最も高い成長率で成長する見込。

APAC 地域では、いくつかの重要な成長要因により、マイクロモバイルデータセンタの採用が大幅に急増している。これらのコンパクトで汎用性の高いデータセンタは、この地域のダイナミックな技術環境と急成長するデジタルインフラストラクチャのニーズに沿った独自の利点を提供。APAC 地域には、世界で最も急速に成長している都市がいくつかある。中国、インド、日本などの国々は、堅牢で低遅延のデータ処理機能を必要とするスマートシティプロジェクトに多額の投資を行っている。5G 技術の導入は、APAC 地域全体で加速している。韓国、中国、日本などの国々は、5G 実装の最前線に立っている。MMDC は、レイテンシーの最小化とネットワークパフォーマンスの向上に不可欠なローカライズされたデータ処理を提供することで、5G インフラストラクチャをサポートする。